

雑損控除計算書(令和 年度分)

住所 _____

氏名 _____

この計算書は、災害により住宅や家財などに被害を受け、雑損失の金額のうちに災害関連支出がある場合に使用してください。

1 損害の原因等

損害の原因		損害年月日	
-------	--	-------	--

2 災害関連支出の内訳

	区分	支払先の名称・所在地等	工事内容	支払年月日	支払金額	支払金額の内訳			A 原状回復のための支出額 ($ハ \times 30\% + イ$)
						イ 原状回復のための支出 金額	ロ 資本的支出の金額	ハ イとロの区分が困難な金額	
原状回復のための支出					円	円	円	円	円
		合 計							
取壊し、除去等の費用	区分	支払先の名称・所在地等	工事内容	支払年月日	B支払金額	[備考]			
					円				
		合 計							

3 損失額の計算

区分	住宅	家財	車両			c 合計
損害金額 「被災した住宅、家財等の損失額の計算書」を使用した場合には、 の金額をそれぞれ「住宅」、「家財」または「車両」の欄 に記入します。	円	円	円	円	円	円
原状回復のための支出額 (2のA欄の各区分ごとの金額)						
と のいずれか大きい方の金額						
から差し引く保険金等で補てんされる額 (の金額を超える場合は の金額)						
-						
原状回復に係る災害関連支出の金額 ((赤字のときは0、 の金額を限度)						
取壊し、除去等の額の合計額 (2のB欄の各区分ごとの金額)						
から差し引く保険金等で補てんされる金額 (の金額を超える場合は の金額)						
-						
災害関連支出の金額(+)						
損失額の計(+)						

4 雑損失の金額(雑損控除額)の計算

区分	損害金額等の全体
損害金額 ((のC) + (のC))	円
保険金などで補てんされる金額 ((のC) + (のC))	
差引損失額(-)	
総所得金額等の額	
× 0.1	
-	(赤字のときは0)
差引損失額のうち災害関連支出の金額 ()	
- 50,000円	(赤字のときは0)
雑損失の金額 (と のいずれか多い方の金額)	
市・県民税の雑損控除額 (と のいずれか少ない方の金額)	
翌年度以後に繰り越す雑損失の金額 (-)	(赤字のときは0)

の金額を申告書「雑損控除の内訳」の「損害金額」欄に転記します。

の金額を申告書「雑損控除の内訳」の「保険金などで補てんされた金額」欄に転記します。

の金額を申告書「雑損控除の内訳」の「差引損害額のうち災害関連支出の金額」欄に転記します。

被災した住宅、家財等の損失額の計算書(令和 年度分)

住所

氏名

損害の原因		損害年月日	令和 年 月 日
-------	--	-------	----------

住宅・家財等の損失額の計算				
住宅の種類				
住宅の区分		平屋・二階建・その他()	平屋・二階建・その他()	
住宅の構造		木造・鉄骨鉄筋コンクリート 鉄筋コンクリート・鉄骨造 その他()	木造・鉄骨鉄筋コンクリート 鉄筋コンクリート・鉄骨造 その他()	
住宅の取得年月		年 月	年 月	
住宅の床面積		m ²	m ²	
被害の区分		全壊・流出・埋没 倒壊・半壊・一部破損 床上浸水(cm)・床下	全壊・流出・埋没 倒壊・半壊・一部破損 床上浸水(cm)・床下	
浸水時間		24時間以上・24時間未満	24時間以上・24時間未満	
土砂(海水)の流入		有・無	有・無	
1 住宅 の 損 失 額	(1)取得価額等が明らかな場合 住宅の取得価額		円	
	(2) (1)以外の場合 1m ² 当たりの工事費用×総床面積		千円/m ² × m ² = 円	
	(又は) × 0.9 × 償却率() × 経過年数() <注>		円	
	被災直前の時価相当額((又は) -)		円	
	損害額(× 被害割合(%))		円	
	保険金などで補てんされる金額		円	
	差引損失額(-)		円	
2 家 財 の 損 失 額	(1)取得価額等が明らかな場合 家財の時価の合計額(別紙から転記)			
	(2) (1)以 外の 場 合	家族構成別家財評価額 (世帯主の年齢 歳:夫婦・独身)		
		生計を一にする親族による加算額 大人(18歳以上の者)1人につき1,300,000円 子供(18歳未満の者)1人につき800,000円		大人 1,300,000円 × 人 = 円 子供 800,000円 × 人 = 円 計
		被災直前の時価相当額(+)		円
	損害額((又は) × 被害割合(%))		円	
	保険金などで補てんされる金額		円	
	差引損失額(-)		円	
3 車 両 の 損 失 額	普通・軽の区分		普通・軽	
	取得年月		年 月	
	車両の取得価額		円	
	× 0.9 × 償却率() × 経過年数(年) <注>		円	
	被災直前の時価相当額(-)		円	
	損害額(× 被害割合(%))		円	
	保険金などで補てんされる金額		円	
差引損失額(-)		円		
差引損失額の合計(+ +)		円		

<注>経過年数に、6か月以上の端数がある場合は1年とし、6月に満たない端数は切り捨てます。

